

■武藤山治 実業家。独自の倫理観で{大鐘紡}築き、政治でも雄弁振るうが挫折、<帝人事件>を摘発して暗殺された。

むとうさんじ

大政奉還・・・1867＝ 尾張国海西郡(愛知県海部郡)で、美濃で代々庄屋をつとめた旧家の長男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 1歳： のち武藤家の養子。

明治6年政変 1873＝ 6歳：

三つの反乱・1876＝ 9歳：

・・・1880＝13歳： 慶応義塾に入学、福沢諭吉から強い感化を受け、

明治14年政変 1881＝14歳：

新体詩抄・・・1882＝15歳： この年、のちに紡績業界でライバルとなる6つ年上の和田豊治が入学してくる。

秩父事件・・・1884＝17歳： 慶応義塾を卒業すると、

内閣発足・・・1885＝18歳： 和田豊治ら同窓生と渡米、食堂の給仕をしながら苦学、カリフォルニア州サンノゼのバシフィック=ユニバーシティに学び、

国民之友始・・・1887＝20歳： 帰国。一族の武藤家を継いで、銀座に日本最初の新聞取次業を開店し、{博聞雑誌}を刊行、

帝国憲法発布 1889＝21歳：

ついで、ジャパン・ガゼット新聞社の記者となり、大同団結運動を進めていた後藤象二郎を支援、

イリス商会につとめるうち、

郡司千島探検 1893＝26歳： 中上川彦次郎に見出されて、和田豊治とともに、三井銀行に入り、

日清戦争始・・・1894＝27歳： \*三井傘下の鐘淵紡績(鐘紡)の新設兵庫工場の支配人に抜擢された。

日清戦争終・・・1895＝28歳： 結婚、

闘志をもって、“注意箱”の設置や“共済組合”の設立など、独自の温情主義にもとづく経営を行う。

Bushidou・・・1899＝32歳： 上海紡績を買収したのを皮切りに、次々と合併・買収を行って、事業を拡大。

田中正造直訴 1901＝34歳： 和田豊治が富士紡績専務になると、ともに財界の人気者として、紡績業界でライバル視されて行く。

日比谷公園・1903＝36歳：

日露戦争始・・・1904＝37歳： 職工教育にも熱心で、兵庫工場の寄宿舎内に女学校を設け、

日露戦争終・・・1905＝38歳： 続けて、職工学校を開設。

韓国反日暴動 1907＝40歳： 和田豊治と共通の恩人朝吹英二が引退。

アラビヤ 創刊・・・1908＝41歳： 専務取締役。

明治天皇没・・・1912＝45歳：

第一次大戦始 1914＝47歳： 軍人優遇を唱えて軍事救護法制定運動を起こしたのを皮切りに、政治へも関与。

大阪紡・三重紡・富士紡とならぶ四大紡の一つ“大鐘紡”を築き上げて、紡績界の指導者となり、

ベルギー条約・・・1919＝52歳： 藤山雷太の調整で、和田豊治を差し置いて、第1回国際労働会議資本家代表となる。

原敬首相暗殺 1921＝54歳： \*社長に就任。

政治家と政商の結託による政界の浄化と経済自由主義を唱え、

関東大震災・・・1923＝56歳： {実業同志会}を創立し、会長に就任。

護憲三派圧勝 1924＝57歳： \*大阪から総選挙に立候補して最高点で衆議院議員に当選、以後当選3回。

独自の雄弁で議会の焦点となり、治安維持法案に反対し、震災手形処理法案も政商救済であると糾弾。

共産党事件・・・1928＝61歳： 第1回普通選挙で{実業同志会}の議席が半減するもキャスティング=ボートを握り、立憲政友会と提携、

世界恐慌・・・1929＝62歳： {国民同志会}と改称し、

海軍軍縮条約 1930＝63歳： 鐘紡社長を辞任して、政治に専念するものの党勢振るわず、

満州事変・・・1931＝64歳：

五一五事件・・・1932＝65歳： 政界引退を表明し、福沢の創刊した{時事新報社}社長に就任。

<帝人事件>を摘発して政財界に衝撃を与えたが、

帝人疑獄事件 1934＝67歳： \*事件の拡大する最中、鎌倉で暗殺された。